

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	緊急走行中の車線合流に伴う追突事故未遂
3. 体験した事例の中心的要素	側道から幹線道路の左車線に合流した際、右車線を走行中の軽自動車が、救急車前方に割り込むようにして急激に車線変更し、さらに車両間隔が数メートルしかないところで急ブレーキを踏み、追突しそうになったもの。とっさのブレーキで前方との衝突は避けられ、後続車には十分警戒し進入していたため、追突されることもなく事なきを得た。
4. 体験した事例の原因・理由	十分に減速し、サイレン、赤色灯、マイクで注意喚起していれば、事故は起こらないだろうという思い込みがあった。左から合流するならば、加速状態にある右車線走行中の車両はそのまま通過するだろうという思い込みがあった。同一箇所での合流はこれまでも経験したが、過去に危険と感ずるようなことはなく油断していた。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 19 年 10 月 0 日 午前 10 時頃
2. 発生した当時の天候	晴
3. 発生した活動現場	屋外：幹線道路と側道の合流地点
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	交通事故
7. 事例体験時の活動	救急、出動途上 []
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	その他：患者収容状態で病院に向かう途中。
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[27]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[5]年、階級[消防副士長]、同様の活動[過去に1,2回程]、任務[機関員]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動[]、任務[]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[]、同様の活動[]、任務[]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	救急車を運転していた	
経過2	当事者A	側道を走行していた	
経過3	当事者A	幹線道路に合流した	左車線へ
経過4	軽自動車運転者	救急車前方に割り込んだ	右車線から
経過5	軽自動車運転者	急ブレーキを踏んだ	車両間隔数メートル
経過6	当事者A	急ブレーキを踏んだ	速度は10~20km/h
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか?
 ヒヤリハットの場合: ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか?

集中力、注意力があった。避難・退避がうまくいった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

いいえ	
-----	--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

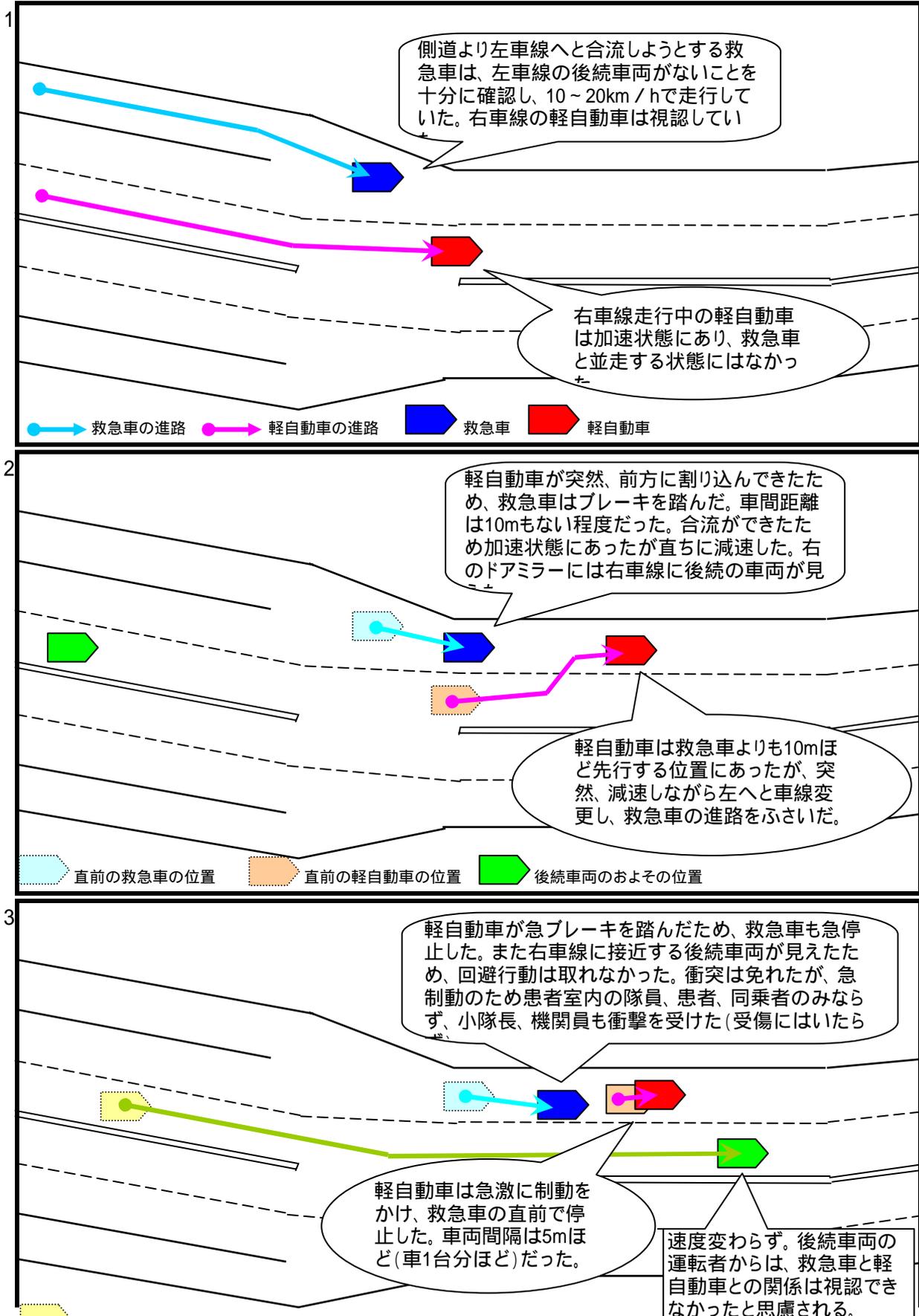
○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

道路状況図

(事案: 緊急走行中の車線合流に伴う追突事故未遂)





直前後続車両のおよその位置



後続車両の進路

なかったと慮される。